

### 工業部会 「北陸新幹線」

工業部会は十一月二十六日(金)、八松苑で石川県企画振興部新幹線・交通対策監の目下正一氏を講師に迎え、「北陸新幹線」をテーマに県政出前講座を開催し、参加者十五名が新幹線整備による効果や今後の取り組みについて学びました。

富山・金沢間の建設工事の状況と平成二十六年度末に金沢開業する「北陸新幹線」の概要やスケジュール等の説明がありました。

新幹線を活用した双方方向による交流人口拡大計画では、「官民挙げて取り組むことが大切である」と話され、地域に与えるインパクト、活用策について考えさせられた研修でありました。



### ◆歳末助け合い入札展 益金を能美市へ寄付

歳末助け合い入札展が十二月十日(十二日)に、寺井地区公民館で開催されました。益金一、四五六、〇九二円は十二月二十日に、社会福祉に役立ててもらおうと能美市へ寄付させていただきました。



ご寄付をいただきました皆さまには感謝し、深くお礼申し上げます。

### 産学官意見交換交流会の お知らせ!

来る一月二十日(木)(開場午後三時より)、石川ハイテク交流センターにおいて、産学官意見交換交流事業の一環で講師に能美市に本社を置く世界的企業の小松精練(株)の代表取締役会長 中山賢一氏をお迎えし、「経済のグローバル化と新製品開発」をテーマにした記念講演会と北陸先端科学技術大学院大学で学生として勉学に励む外国人留学生の体験スピーチを開催します。

会員の皆様のご来場を心よりお待ちしております。

### 青年部 新部長選任



青年部は十一月十日(水)、辰口福祉会館において臨時総会を開催し、平成二十三年度部長に染谷政光さん(フアーマケア株)取締役・ふたば薬局)を選任しました。

### 就任9ヶ月を振り返って

事務局職員は昨年、「商工会は行きまず聞きます提案します」をスローガンに巡回・訪問指導を行ってまいりましたが、秋の商工会法施行五十周年のビックイイベントの作業に追われ、青色吐息の一年であったように感じます。

私自身、これまでの環境と違う分野の仕事に慣れない状態が続き、職場の皆さんから指導を受ける日々でありました。お陰様で事務所のムードもよく、あつという間に新しい年を迎え、ポジティブに物事を考えることができるようになりました。

職員一人ひとりが会員皆様のもとへ赴き心を接した経営指導ができるよう事務所の業務環境を整えるのが私の責務だと思っております。また、職員が集中と選択・スピード感を持つて事に当たるよう共通認識し合うことも重要だと考えております。

日本社会の歪が見え隠れするなか、

### 新入会員紹介

昇遊 コスモス 田中 美智子 (商業部会)  
寺井町 健康食品販売  
北龍建専 北野 明彦 (建設部会)  
吉原町 外壁工事業 (建設部会)

### 商工会行事予定

日	内容
4日(火)	仕事始め式
6日(木)	広域会長副会長研究会
10日(月)	食彩の夕べ(辰口温泉)
12日(水)	年末調整個別相談会(根上寺井)
13日(木)	年末調整個別相談会(辰口)
18日(火)	青年部新年例会
20日(木)	産学官意見交換交流会
23日(日)	女性部新年例会
2日(水)	鉄工部会視察研修
8日(火)	理事役員会
14日(月)	女性部福祉事業「おはぎづくり」
15日(火)	鉄工部会総会
17日(木)	建設部会総会
18日(金)	建設部会総会
22日(火)	繊維部会総会
25日(金)	工業部会総会

商工会全体が厳しい社会・経済環境に立ち向かうことが今、求められていると思います。

元気が一番よく言いますが、元気がなければ何もできません。職員一同、元気を出して切磋琢磨・和を重んじ、実態経済における経営支援サービスに努めなければならぬと気持ちの高ぶらせているところがあります。

今後とも、叱咤・激励、ご指導を賜りますようお願いいたします。

(事務局長 室谷隆盛)

# 商工のみ

vol.28  
2011. 1. jan  
能美市商工会  
能美市寺井町347番地  
TEL(078)158-4230 FAX57-3510  
URL http://nomi.shoko.or.jp/

# 迎春

平成二十三年



明けましておめでとございます。皆様におかれましては、新春をご健勝でお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨今のわが国経済は、最悪期を脱し、穏やかな持ち直しの動きも見られるようではありますが、ここに来て、昨年後半からの急激な円高基調や景気の二番底といった不安材料があり、全体としての回復力は弱く、特に、地方の中小規模企業を取り巻く経営環境は、依然として厳しさを増してきているようであり、

さらに中小零細小売業に関しては、将来への不安感からの消費者の購買意欲の低下やデフレの影響により危機的経営環境に直面しております。また、地域コミュニティや生活基盤の崩壊など地方の社会・経済の疲弊は深刻な問題となっております。

このような状況のなか、昨年十月に、関係各位のご指導ご協力の下、商工会法施行五十周年を記念し、市内企業の優秀な技術・先端力を結集した商工業展を開催し、市内企業の連携強化や商工業物産・後継者対策、あわせて、雇用や就業の確保など商工業展を通じて地域振興に努めてまいりました。

### 年頭に当たって

商工会長 田上好道

本年は、法制化五十年、この半世紀を節目とし、商工会法の精神・原点に立ち返るとともに、疲弊する地域経済の蘇生と健全な地域社会の維持・発展のための商工会活動を強力に展開していくことが使命であります。

ここに「商工会は行きます聞きます提案します」会員満足向上運動「」をスローガンに、管内企業への巡回訪問・巡回指導を実施し、地域に密着した経営支援サービスに努めるとともに、事業・組織運営の効率化や職員の能力向上に努め、商工会の目的「地域における商工業の総合的な改善発達を図り、あわせて社会一般の福祉の増進に資し」を推進し、地域の総合的経済団体、指導団体としての役割を果たしていく所存であります。

2011年の干支「兔の登り坂」の如く、1540会員が持ち前の力を振るい、社会全体に明るい兆しが早く進むことを願うばかりであります。

この新しい年が会員の皆様をはじめ関係の皆様にとりまして、明るい展望の持てる年となるよう心からお祈り申し上げますとともに、地域社会の発展を祈念し、新年のごあいさついたします。



### 驚異から脅威へ

衆議院議員 森 喜朗

十年一昔と言いますが、私が総理大臣を拝命してから早いもので十一年が経過しました。短い期間でしたがその割には大きな仕事をやらせてもらったと自負しています。その一つがIT革命の推進でありました。当時はアメリカ、インド、韓国がIT先進国であり、後塵を拝していた日本では、情報通信のインフラ整備すら覚束ない状況だったのです。それを列国と肩を並べるまでに育てあげたのです。

過去、日本が辿ってきた社会の発展過程は、慣れ親しんだ生活のたまたまを質的向上と拡大程度に終始させており、世の流れに身を委ねていけば、それなりに幸せになれる結構な世の中でした。テレビや家用車にしても、当時は革命的と思っただけでしたが、人間の本質をかえる厄介なものではなく、健全に使用していれば結構幸せでした。つまり驚異の発明でしたが、脅威ではなかったのです。

ところが最近急速に普及した多機能型コンピュータは、社会も人間

も本質的に覆すと思うほどの進歩を遂げています。知識も情報もコンピュータを通して供与され、経過や方法はともあれ結果的に優れた論文を輩出し、企業の経営方針までも導き出しています。最近のウィキリークスによる外交文書流出事件の片棒担ぎに至っては、「驚異」から「脅威」のメディアへと転じつつあると言わざるを得ません。

私はIT社会実現と同時にデジタルデバイスにも取組む必要を主張してきました。恩恵をあまねく享受することも大事だが、それを行使する人間教育を余程しつかりやらないととんでもない社会になることを警告してきたのですが……。

本年も皆様のご多幸をお祈り申し上げます。



### 新年のご挨拶

能美市長 酒井 悌次郎

輝かしい平成二十三年の新春を、ご家族お揃いでお迎えのことと心からお慶び申し上げます。日頃より商工会の皆様方には市政全般にわたり多大なご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

日本経済を見渡しますと、潜在的構造不況後のリーマンショックによる追い打ちから抜け出せないで、未だ多くの企業が必死でもがいております。一部には最悪の時期を脱したとの見方もありますが、円高の構造は全く変わっておりません。

政府には、企業業績の悪化、円高や雇用問題に「切れ目のない」迅速な政策対応により新成長戦略が着実に実現されるよう願うものであり、国全体が一枚岩となって取り組んでいくことが必要であると考えております。

こうした中、「ものづくりのまち」を自負する能美市としても、企業が底力を発揮し自信を回復するよう積極的のさらなる支援をしていきたいと思っております。

具体的には、一昨年から実施しております中小企業向けの緊急経営

安定化融資制度の終了に替え、さらに借りやすい制度とした中小企業経営支援融資を制定し、商工業者の方々にさらに積極的に支援していくこととしました。

また、雇用対策においても、新規に中学・高校を卒業された市民の方を正規雇用された市内の企業の方に奨励金を交付する、「高等学校等新規卒業者雇用奨励金制度」を設け、新規卒業者の雇用促進と若者の地元定着を促進することで、「ものづくりのまち」の原点である優秀な労働力の確保に努めてまいります。

今後にも必要に応じて商工会と連携を図りながら、厳寒の状況から今年も少しでも明るく温かな一年となりますよう祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。



### 女性部 能美市企業探訪

女性部は十一月四日(木)、本年度初の試みで市内大手企業の小松精練(株)、(株)タガミ・イーエクスを視察研修させていただきました。(参加者十九名)

十月に開催された五十周年事業の商工業展で目にしたように、市内には世界に通ずる優秀な企業がたくさんあります。

今回は、その中の二企業を訪問し、社内や工場を見学したり、経営者の考え方を伺ったりすることが出来たことは、部員にとつてより興味深く市内企業に目を向けるきっかけとなり、充実した研修会となったようです。



### 広域青年部 合同講演会開催



能美・山中広域青年部は十一月十五日(月)、辰口福祉会館において(有)アイリンク・コンサルタント代表取締役 加藤忠宏氏を講師に迎え「ゼロから始めるWeb(※)サイト」をテーマに講演会を開催しました。(参加者三十六名)「従来のホームページのイメージを忘れて下さい。時代は変わったんです！」と刺激的な言葉から始まり、間違ったWeb戦略ほどお金と時間が掛かるものはないので、経営者自身日々勉強であると教えていただき、大変有意義な講演会となりました。(※インターネットで情報を共有するためのシステムの一つ)

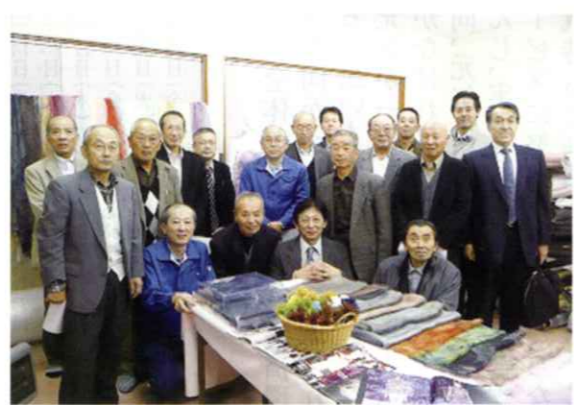
### 九谷部会 中国と日本のモノづくり考

九谷部会は十一月十七日(水)、寺井地区公民館において、北陸大学薬学部准教授である劉園英先生を講師に迎え、「中国と日本のモノづくり考」についてをテーマにした講習会を開催しました。

講師は中国と日本との比較から習慣・文化・国民性などの特徴などを解説し、中国人から見ると日本人のイメージ(勤勉性・真面目・礼儀正しい・清潔感等)や人間関係(縦社会・柔軟性・我慢等)について一つの言葉を一方からの視点でなく、両面からの視点で分りやすく講演されました。



### 織維部会 先進企業見学研修会



織維部会では十一月十八日(木)に、能登地区の先進企業を訪問し、見学研修会を実施しました。(参加者十八名)

中能登町織物デザインセンターで約七千点の展示デザインを見学し、丸井織物(株)では、本社工場および七尾工場を隅々まで見学しました。天池合織(株)では、海外で注目の「天女の羽衣」といわれている世界一軽くて薄い衣料用織物を実際に手に取ることができました。

参加者は、どの見学先でもとても熱心に見学・質問を行い、先進企業の現場や技術に触れる事ができ、とても有意義な研修会となりました。